

COMPASS 発達支援センター武藏新城

討議日：令和5年10月23日

公表日：令和6年3月25日

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースの関係で適切である	7		国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	
	2 職員の配置数は適切である	7		国の定める配置基準では、事業所に児童発達管理責任者・管理者を1名以上配置・児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7		児童が視覚的にもわかりやすい環境作りを心掛けています。 建物の構造上階段もありパリアフリーになつていませんが、児童が移動する際には職員と一緒に行動して、安全に配慮しています。 ベビーカーをご利用の場合は上げ下ろしのお手伝いをさせていただいております。	
業務改善	4 業務改善を進めるためPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	7		その日勤務の職員が描う時間に業務連絡、療育内容の確認など話し合いの場を設けております。 また定期的に会議を実施し、支援の改善点、療育の計画などすべての職員が情報を共有できるように図っております。	
	5 保護者様向け評価表を活用するなどによりアンケート調査を実施して保護者様の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		評価表を集計し、職員全体で向き合い、振り返りを行うことで業務改善に繋げています。 評価にあるご意見やご要望などについては、どう改善していくかを職員間で話し合い、内容を共有し取り組めるようにしております。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報や公式Webサイト等で公開している	7		COMPASS 発達支援センター公式 Web サイトにて公開しております。	今後も公式 Web サイトで公開してまいります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8 職員の資質の向上を行ったために、研修の機会を確保している	7		年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保しております。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、児童と保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		児童発達支援管理責任者が中心となって児童の現状に合った支援計画を作成し、その都度見直しをおこなっております。 また関係機関との連携を図り、児童の現状と今後の課題に沿った計画を作成しております。	
	10 児童の適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7		社内共通様式で標準化されたアセスメントツールを活用しています。ツールには児童の意思表示の方法や身辺自立の状況、言葉や文字、数への理解など細かく書けるようになります。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		ケース会議を行い、児童一人ひとりの支援内容について意見を出し合った上で療育を取り組む課題をチームで設定しております。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		定期的に行う固定プログラムのほか、季節の行事や児童の興味に配慮したプログラムも取り入れ楽しく意欲的に活動ができるように工夫しております。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7		平日の療育に加え、長期休暇にはイベントなどをを行い、集団活動の中で力を身に付けられるよう支援しております。	
	14 児童の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	7		個別療育で語彙の獲得や、気持ちの伝え方等個々の課題の学びの場を持つようにし、集団活動の中でそれを活かして表現できるように見守っています。 また職員が関わりの仲介に入って個別と集団を組み合わせられる工夫を随時行っております。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		毎朝ミーティングを行い、当日の担当や役割分担について情報共有や安全の確認を行っております。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		支援終了後は全員での打ち合わせが難しい場合もありますが、気付いたことや反省点は職員間で共有しています。 また記録に残して、翌日の朝のミーティングで確認するようにしております。	
	17 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		支援に対する記録は、療育担当者が必ず行い、切れ目ない支援に役立てております。 記録はケース会議などで振り返り、今後の目標設定に活用しております。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断しています。 児童発達支援管理責任者が支援計画の見直しの時期を把握し、時期に合わせて、面談で聞き取りを行い、次回の目標設定を検討しております。 送迎時の保護者様との会話からもご意見として参考にさせていただいています。	
関係機関や保護者様との連携	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	7		ガイドラインで示された支援内容を元に、児童一人ひとりの課題に応じた具体的な支援内容が設定しております。 児童一人ひとりの課題に応じて支援計画が立てられ、定期的な家庭支援の項目も記し家庭連携なども行っております。	
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその児童の状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7		対象児童について、事前に職員間で話し合い、現況把握のうえで、児童発達支援管理責任者が担当者会議に参画しております。	
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、児童の下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	7		保護者様を通し、学校での様子や相談ごとなどを学校と連携して相互理解を持つように努めしております。	
	22 医療的ケアが必要な児童を受け入れる場合は、児童の主治医等と連絡体制を整えている		7	現在医療的ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7		保護者様にご確認をとったうえで、情報提供を受けたり情報交換をして支援に役立てております。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7		現在まで障害福祉サービス事業所への移行になった学齢の利用児童には必要な情報を保護者様を通じて提供しております。	
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7		例年関係機関とは積極的に連携に努めていますが、昨年度は感染症の拡大のため、電話以外の助言や研修を受ける機会は、持つに至っておりません。	
保護者様への説明責任	26 放課後児童クラブや児童館との交流など外部との活動する機会がある	7		殆どの児童は小学校や学童などで、個々に障がいのない児童との交流はできていると想定します。 昨年までの感染症の流行もあり事業所主催の交流の機会は企画できませんでした。	感染症の状況に留意しながら事業所について理解を深めていただき見学・話合いなどを持つ機会があつても良いと良いと考えていますが保護者様のご意向にも配慮し、慎重に検討してまいります。
	27 （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7		感染症の広がりがあり協議会への参加機会を持つことができませんでした。	今後は感染症の状況に留意しながら積極的に関係機関の研修の機会を逃さず参加して助言を受け、密に連携が取れるように努めます。
	28 日頃から児童の状況を保護者様と伝え合い、児童の発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		ご利用の都度、連絡帳に療育内容を記入してお伝えしています。 また、送迎時に保護者様からのお悩みをお聞きしたり、事業所での様子や課題についてお話をしております。	
	29 保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対して家族支援プログラム（ペアレン特・トレーニング等）の支援を行っている	7	2	送迎などの機会に保護者様のお悩みやお困りごとをお聞きし、必要な助言や効果的な支援方法などを伝えするよう努めています。 また療育上必要で家庭での協力がいるものはご提案し、可能な範囲で取り組んでいたいであります。	
	30 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		保護者様に分かりやすいように丁寧な説明を行っております。 また契約の際の読み合わせでは質問やご不明な点がないなどを確認しながら進めております。	
	31 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		連絡帳や来所時にご相談があった際には、児童発達支援管理責任者が中心となり職員間で共有しています。 送迎時、連絡帳の他、できるだけ面談を行い、保護者様のお悩みの解決に向けて尽力しております。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催したりするなどにより、保護者様同士の連携を支援している	7		感染症の状況を確認しながら検討したりましたが、昨年度は保護者会を開催できていません。 その分事業所内の活動報告を掲示板などで積極的に発信し、連携を図っております。	
非常時等の対応	33 児童や保護者様からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7		こちらからもお声掛けを行い保護者様からのご意見や申し入れがあった場合は適切に対応しております。 また担当者と連絡が取りやすいように配慮しご意見は全職員で情報共有し迅速な対応を心掛けております。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を児童や保護者様に対して発信している	7		季節ごとにお便りを発行し、行事予定や制作活動の様子、注意点（お知らせ）等を発信しています。 また、事業所には玄関にお知らせ用掲示板を設置しております。	
	35 個人情報の取扱いに十分注意している	7		法人の定める個人情報保護に則って、名前の表示・状態などの流布・外での会話など漏洩がないように細心の注意を払っております。 また書類は施錠ができるキャビネットで保管しております。	
	36 障がいのある児童や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		児童独自の意思表示法などについては保護者様に教えていただき、確認しております。 また、簡潔で分かりやすい声掛けや言葉だけでなく、身振りなどの視覚的支援を通して意思の疎通ができるよう心がけております。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っている		7	感染症の状況を鑑み、事業所の行事に地域住民を招待するような企画は行えておりませんでした。	今後も利用児童の安全や感染症の状況に留意しながら地域への働きかけを検討してまいります。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者様に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		各種マニュアルは壁面に掲示して、保護者様に手に取ってご覧いただけるようにしています。 また、定期的に児童とともに避難訓練を実施しております。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		非常時避難用の道具（安全ヘルメット、防災頭巾、99カード他）を常備しております。 定期的に非常時を想定した話し合いや児童と一緒に避難訓練を行っています。	
虐待防止等の対応	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っている	7		事業所に虐待防止責任者を選定し、すべての職員が事業所内研修に参加し、認識を深めております。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、児童や保護者様に周知し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7		利用契約書に原則として身体拘束の禁止を記載していますが、やむを得ず必要となる場合については、保護者様の承諾を得て支援計画に記載するようにしております。	
	42 食物アレルギーのある児童について、医師の指示書に基づく対応がされている	7		指示書がある児童については保護者様と情報共有をおこない、各児童のアレルギーに關しては一覧表を作成して全職員に周知しております。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		大きな事故を未然に防ぐという共通目的を意識し、小さなことでも気づいた点は記録に残して全職員共有しています。 記録はファイリングし、過去の事例と合わせていつでも確認できるようにしております。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。